

# Check タイプ アルコール体質チェック

アルコール代謝関連酵素 (ADH1B・ALDH2) の遺伝子タイプを調べる検査です。  
アルコールの体質なんてお酒を飲めばわかる…実はそれが違う人もいます！

## アルコール体質とは

アルコールを分解する代謝酵素の働きには個人差があり、その強弱は遺伝子の一部の違いにより決められます。簡単な遺伝子検査により、アルコールの代謝能力がわかります。タイプは、以下の5つに分けられます。

- | タイプ                                     | 体質の特徴    |
|---|----------|
| A 飲みすぎると翌日にお酒が残りやすく、アルコール依存症に最もなりやすいタイプ |          |
| B 不快な反応が出にくく、お酒好きになりやすいタイプ              |          |
| C お酒に弱いのに顔に出にくく、飲酒で食道がんに最もなりやすいタイプ      | 疾病との関連も… |
| D お酒に弱くすぐに顔が赤くなり、飲酒で食道がんになりやすいタイプ       |          |
| E お酒が全く飲めないタイプ                          |          |

国立病院機構 久里浜医療センター 横山頭 臨床研究部長による分類



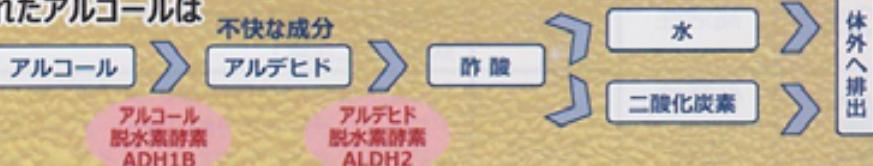
アルコール体質に関する遺伝子検査をすることで、自らの体質的な特徴を理解し、アルコール関連の疾患（アルコール依存症や、急性アルコール中毒、咽頭がんや食道がん、肝臓疾患）への危険性を認識し、適度な飲酒を心がけることで疾病予防に貢献します。

## アルコールはどのように分解されるのか？

体内に入った  
アルコールは…



胃や小腸で吸収されたアルコールは  
肝臓へ送られ…



アルコールが分解されてできるアセトアルデヒドには強い発がん性があり、  
咽頭がんや食道がんの原因になることが  
世界保健機関(WHO)によって認定されています。  
最もリスクが高いCタイプは、アルコールを貼るだけのパッチテストでは判りません。

## どのような検査をおこなうのか？

### ① 採取

ほほの内側を専用  
綿棒でこります。



### ② 乾燥

専用綿棒を  
乾かします。



### ③ 提出

専用容器に入れ、  
しっかりと蓋をして  
提出いただきます。

採取、取扱いが簡単



結果は生涯変わりませんので1度の検査でOKです！

## このような方に

### 健康に飲酒を楽しみたい



- ◆酒量の多い方が、咽頭がんや食道がんのリスクについて考えるきっかけ作りに
- ◆Cタイプで飲酒家の方は、年に一度の内視鏡検査をお勧めします
- ◆Cタイプ・Dタイプで気管支喘息の方は、飲酒により悪化するとの報告も



### アルコール体質を知りたい

- ◆新成人・新社会人になり飲酒の機会が増える方に
- ◆練習してもなかなか飲めるようにならない方に
- ◆車の運転や機械操作のお仕事をされている方に
- ◆Eタイプの方は、アルコール入りの栄養ドリンク等にもご注意ください



## お酒に強い体質・弱い体質とは？

世の中には、酒豪と呼ばれる人や少し飲んだだけで顔が赤くなる人、お酒が全く飲めない人といろいろなタイプの人があります。こうした違いは、アルコール代謝の2つの酵素ADH1BとALDH2の働きの強弱により、アルコールやアセトアルデヒドの分解能力に個人差があるためで、大きく5つのタイプに分けることができます。



国立病院機構久里浜医療センター 横山顕臨床研究部長による分類

アルコール 体質タイプ (日本人の割合)	アルコール 分解遺伝子 ADH1B	アルデヒド 分解遺伝子 ALDH2	体質の特徴
<b>A</b> (4%)	低活性	活性	《翌日お酒が残りやすく、アルコール依存症に最もなりやすいタイプ》 お酒を飲んでも赤くなるなどの不快な反応が一番出にくく、大酒飲みに最もなりやすいタイプ。 飲み過ぎると翌朝までアルコールが残るので、早朝の車の運転や仕事に注意！ 
<b>B</b> (57%)	活性		《お酒好きになりやすいタイプ》 お酒を飲んでも赤くなるなどの不快な反応が出にくく、お酒好きになりやすいタイプ。 アルコールの分解が速いので、その分肝臓への負担が大きい。節度ある飲酒を！ 
<b>C</b> (2%)	低活性	低活性	《お酒に弱いのに顔に出にくく、飲酒で食道がんに最もなりやすいタイプ》 アセトアルデヒドが体にたまるのに、顔が赤くなるなどの不快な反応が弱いので、お酒に強いと勘違いしやすいタイプ。飲み過ぎると翌朝までアルコールが残る。たくさん飲む人は喉頭がんや食道がんになる危険性が最も高いので定期的な検査を！ 
<b>D</b> (33%)	活性		《お酒に弱くすぐ顔が赤くなるタイプ》 少量のお酒でアセトアルデヒドがたまり、すぐ顔が赤くなり不快な反応が出るお酒に弱いタイプ。不快な反応に慣れてくるとお酒が飲めるようになるが、たくさん飲むと喉頭がんや食道がんになる危険性が高いので、飲み過ぎに注意！ 
<b>E</b> (4%)	低活性 活性 高活性	不活性	《お酒がまったく飲めないタイプ》 アセトアルデヒドが分解できず、ごく少量のお酒でまっ赤になり不快な反応がとても強く出るお酒がまったく飲めないタイプ。このタイプの人にはお酒は毒です。無理して飲まいように！まわりの人も飲ませないように！ 

※日本人の割合は、弊社調べ7,266名を対象としたデータより算出

検査結果返却の手間を削減

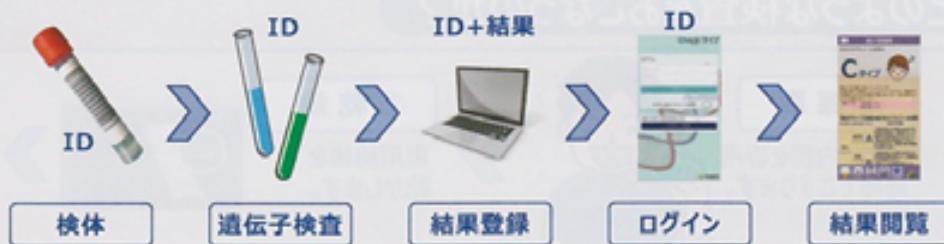
結果はアプリで返却！



※アプリダウンロードは無料

遺伝子検査結果というセンシティブな情報を個人情報と紐づけることなく、受診者に返却することをITにて実現しました。

医療機関専用のWEBサイトでも参照でき、健康指導等での活用が可能です。



- アプリもしくはWEBサイトによる検査結果の返却により、医療機関による結果返却の手間不要
- アプリで結果を持ち歩けるので、お酒を飲めないEタイプの人が、飲めない体質であることを証明にも利用可能
- 自らの飲酒が、危険の高い飲酒なのかどうかがわかる「飲酒習慣チェック」コンテンツも